

## 第2部 我孫子市の平和事業

### 1. 継続事業

#### (2) 被爆70周年平和祈念式典・「平和の灯」点火式

○日時：平成27年8月15日（土）9：30～

○場所：手賀沼公園「平和の記念碑」前

○参加者数：約160名

8月15日、我孫子市原爆被爆者の会との共催により、被爆70周年平和祈念式典を開催しました。式典では、原爆犠牲者に哀悼の意を捧げるとともに、核兵器の廃絶と平和を祈りました。また、平和の記念碑横に新設したモニュメントに、派遣中学生が広島から持ち帰った「平和の灯」を点火しました。モニュメントは我孫子の「平和の灯」として、核兵器がこの世界からなくなるまで常時点灯し続けます。

#### ◆ 式典スケジュール

【進行：宮田将則（我孫子市原爆被爆者の会）】

時間	内容
9:30	開式
9:32	詩の朗読「序」「八月六日」（峠三吉「原爆詩集」より） 朗読：濱田洋子
9:40	参加者全員による黙祷
9:42	式辞 主催者／我孫子市原爆被爆者の会 副会長 中田澄子 主催者／我孫子市長 星野順一郎
	ごあいさつ 来賓／市議会議員 佐々木豊治 来賓／県議会議員 今井勝 来賓／県議会議員 水野友貴
	紹介 我孫子市議会副議長 日暮俊一、我孫子市副市長 青木章 我孫子市教育長 倉部俊治、東日本ガス（株）社長 川合時雄
10:00	広島派遣中学生の紹介・報告 ①派遣中学生24名の紹介 紹介：宮田将則 ②代表挨拶・報告 派遣団団長 竹内梨紗
10:15	我孫子市平和都市宣言読み上げ（派遣中学生を中心に）
10:25	「平和の灯」点火式 点火：竹内梨紗（派遣団団長）、藤井翔太（副団長）、早坂旭慈（副団長）
10:40	千羽鶴の奉納 奉納：派遣中学生 青木貴音、伊藤汐里
10:50	献花（代表～派遣中学生～参加者全員）
11:10	閉式

## 第2部 我孫子市の平和事業

### 1. 継続事業



市民の皆さんから寄せられた折り鶴が飾られた  
平和の記念碑



派遣中学生代表挨拶・報告



平和の灯の点火の様子



## 第2部 我孫子市の平和事業

### 1. 継続事業

#### ◆ 我孫子市原爆被爆者の会 式辞

本日は厳しい暑さの中、来賓の方、派遣中学生 24 名そして多くの方々のご出席を頂き「被爆 70 周年平和祈念式典」を開催することが出来ました事を心から感謝申し上げます。

更に「平和の灯」の点火式も合わせて行われます。

星野市長のご尽力により、核兵器廃絶・戦争のない平和な世界を願う我孫子市民のために広島「平和の灯」から分火を受け派遣中学生 24 名の代表が大切に持ち帰りました。

その灯は「平和の記念碑」横に設置されたモニュメントに分火され燃え続けることになりました。

私達被爆者にとってこんな嬉しい事はございません。

このあと「点火式」が行われますが、核兵器のない平和な世界になることを祈って見守りたいと思います。「平和の灯」の分火は千葉県では初めてだそうです。我孫子市は「平和都市宣言」を 1985 年 12 月にしました。今年 30 年を迎えます。千葉県は「非核平和千葉県宣言」を 1994 年 10 月にして 21 年になります。ここに設置された「平和の灯」は我孫子市のシンボルです。

戦争のために原子爆弾が造られ、そして戦争のために原子爆弾が使われました。

核兵器が存在する限り平和な世界は絶対に作れません。

広島に行った中学生の皆さん、私達のような被爆者を再び作らないよう、核兵器のない平和な世界の実現のために、皆さんが軸になり活動の輪を広げて下さる事を重ねてお願い致します。

私達会員も平均年齢 80 歳を過ぎ高齢化しましたが、原爆の悲惨な記憶を風化させないために、若い世代に伝えていく活動を可能な限り続けていきたいと思っています。

最後になりましたが、平和を願って「折り鶴」を折って下さった多くの市民の皆さん本当にありがとうございました。「折り鶴展」と合わせて「原爆写真展」も開催しています。

私達被爆者は原子爆弾の悲惨な現実を少しでも多くの人達に知って頂きたいとの思いを強く持っています。是非立ち寄って観て下さい。

そして平和について考えるきっかけにして下さる事をお願いしてご挨拶にかえさせていただきます。

平成 27 年 8 月 15 日

我孫子市原爆被爆者の会副会長 中田 澄子

#### ◆ 我孫子市長 式辞

広島と長崎に原爆が投下されたあの忌まわしい日から70年目を迎えました。原子爆弾は、一瞬のうちに多くの尊い生命を奪っただけでなく、辛うじて一命をとりとめた人々にも、心身共に生涯消えることのない深い傷を残しました。原子爆弾並びに先の大戦で犠牲となられた御霊に対し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

被爆70周年にあたる今年、広島市より「平和の灯」（へいわのともしび）の分火を受け我孫子市にも「平和の灯」を設置しました。この「平和の灯」は核兵器廃絶を願い世界から核兵器が無くなるまで灯し続けます。

平和の灯の分火は、市内中学校より選ばれた派遣中学生24名が広島平和記念公園内の「平和の灯」から採火しました。

8月6日の「広島平和記念式典」にも私と一緒に参加してきました。広島平和記念式典では、約5万5千人が参列し、外国からの参加国は過去最多となる100か国の代表が集いました。

今なお原爆による被害に苦しむ方々が大勢いらっしゃることを思えば、いかなる国のいかなる核兵器に対しても、廃絶することを求めていくことが我々の使命であることは明らかであり、広島平和記念式典に参列して、改めて思いを強くいたしました。

私たちは今後も、平和宣言都市として、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現に向けて、一步でも前進するよう、多くの人々と連携の輪を広げていくことに、全力を尽くすことをお誓い申し上げます。

結びに、「被爆70周年平和祈念式典」を挙げるにあたり、ご来賓各位並びに被爆者の方々のご臨席と、多数の市民の方々のご参列をいただき、厚くお礼申し上げます。また、被爆による不安・苦しみと戦いながら、今年も市とともに平和祈念式典の開催にご尽力いただいた「我孫子市原爆被爆者の会」の皆様方のご努力と、核兵器廃絶・世界恒久平和への熱い思いに対し、心から敬意を表すとともに、被爆者並びにご遺族の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます、式辞といたします。

平成27年8月15日

我孫子市長 星野 順一郎